

「子どもの貧困」とは？

子ども食堂、たまり場、学習支援などの取り組みが広がっています。これらの背景に、「子どもの貧困」という問題があります。そもそも「子どもの貧困」とは何なのでしょう。今回の研修会は、私たち子育て支援者が、この問題を正しく知り、何かできるかを考える機会にしたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成 29 年 11 月 27 日（月）15：30～17：30

場所：ラフル研修室

講師：草間吉夫氏 東北福祉大学特任教授、前・茨城県高萩市長
内閣府「子供の未来応援国民運動」発起人・アドバイザー

対象：民生委員児童委員、主任児童委員、親と子のつどいの広場、
子育て支援者、地域ケアプラザコーディネーター、保育園、幼稚園
地区社協の方々、子どもの貧困に関心のある方々

定員：50 名

申込み：電話・メール・FAX にて受付 （裏面参照）

締切：11 月 10 日（金）

内容

- ・子どもの貧困って何？
- ・絶対的貧困、相対的貧困とは？
- ・その貧困が子どもの将来にどんな影響を及ぼすの？
- ・今、私たちにできることは？

* 貧困について正しい知識を得て、現場でできることを考える機会となることを目指します



【講師 草間吉夫氏 プロフィール】

1966 年茨城県生まれ。家庭の事情で生後 3 日から高校卒業まで乳児院と児童養護施設で育つ。東北福祉大院
博士課程退学。児童養護施設で 5 年間勤務後に松下政経塾入塾。東北福祉大学講師を経て 2006 年から 2 期高
萩市長。内閣府「子供の未来応援国民運動」発起人・アドバイザー・基金審査委員長、厚労省「社会保障審議
会児童部会」委員など国や自治体の各種委員等を数多く歴任。著書に『ひとりぼっちの私が市長になった!』（講
談社）『児童養護施設の子どもの貧困を考える』（社会福祉法人同仁会）等

